

2012年(平成24年)8月8日(水)

# 若者県内就職へ縁結び

学生と  
既卒者

## 企業・団体見学ツアー

江定  
財団

県内就職を志望する、来春に大学・大学院、短大、高専、専門学校、職業能力開発校を卒業予定の学生と、既卒者を対象にした企業・団体の見学ツアーが7日始まり、参加者が理解を深めた。

銘打ったツアーは、ふもと高根定住財団(松江市朝日町)が若者の県内就職を促進するため、昨年度にスタート。本年度は松江、浜田両市内で計3回、企画した。

7日は、県内外の大学や短大などに通う学生計9人が参加し、松江市内で開催。シートシャッター製造の小松電機産業(乃木福富町)▽県立三瓶自然館サヒメルなどを管理運営するしまね自然と環境財団(東津田町)▽廃棄物処理やリサイクルなどのアースサポート

(八幡町)を訪れた。このうち、アースサポートでは、同社の担当者から業務内容の説明を受けた後、工場に足を運び、不燃ごみを自動分別する装置などを視察した。

愛知県内の大学の4年生の男子学生(21)は「安来市出身」は「今まで知らなかった企業の話を聞くことができ、勉強になった」と話した。



アースサポートの工場内で、担当者(右端)の説明に耳を傾けるツアーの参加者